

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	河川等維持補修事業			会計	款	項	目	大	事	小	事
				01	08	03	02	01	54		
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）			主管課	河川課					
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備			主管課長	中西 辰夫					

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	準用河川及び水路の構造物及び関連施設	意図	排水機能及び施設の安全性を確保する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川施設の維持修繕のため工事を実施する。</li> <li>自治会から要望を受けた水路について蓋掛け工事を行い、地域環境の向上を図る。</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存施設は、老朽化による機能低下の恐れがあるため、修繕の必要性が高まっている。</li> <li>水路蓋掛け工事を継続的に実施してきたことにより、要望箇所も少なくなっている。</li> </ul>			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	小破修繕工事件数	25	21	14	件	↓↓↓
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・住民や自治会からの情報提供について緊急を要するものと計画的に修繕すべきものを仕分け対応している。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		24,934,920	23,208,580	20,776,732				
事業費(b)(円)		19,212,120	17,991,180	15,675,612				
うち一般財源		19,212,120	17,991,180	15,675,612				
職員給与費(c)(円)		5,722,800	5,217,400	5,101,120				
人役・職員(人)		0.76	0.76	0.76				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設の老朽化に伴う修繕を行う。</li> <li>排水施設機能維持のため施設改修をする。</li> <li>住宅地の水路蓋掛け工事を行う。</li> </ul>	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化に伴う施設補修費は、今後も増加傾向にある。</li> <li>水路は延長が長いため施設改修には事業費と期間を要する。</li> </ul>
②今年度(H29)に実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次災害を防止、施設機能維持のため早期に改修工事を実施した。</li> <li>住宅地の水路に蓋掛け工事を行い環境を改善した。</li> </ul>	④今後(H30以降)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工方法や発注方式の検討により、経費節減を図る。</li> </ul>